

逢わせの法則 思い語る

筑紫の街・北九州を歩く

「北九州建築家協会」

「北九州建築家協会」

「北九州建築家協会」

「住みよいところ知って」

筑紫の街、福岡県、スタッフまで、オール北九州、で作り上げた映画「めぐる逢わせの法則」の上映会が、北九州市門司区の門司市民会館で開催された。筑紫建築家協会のほか、主演したばかりの豊水尚紀さん(20)、小田彩加さん(21)、坂口理子さん(26)の3人も登壇、作品への思いを語った。

掛け軸4幅の修復終え公開

約10年かけて修復作業を終えた福岡市指定有形文化財の掛け軸4幅が、筑紫建築家協会(同市鳥井通)で公開されている。10月4日



修復作業を終え公開されている不動明王図。左は修復前の写真

まで、無料。掛け軸は「星島寛政図」「不動明王図」と「十二天図」「(1対)の4幅。江戸時代に制作されたと思われる。裏書には、大庄屋の別府九郎が如法寺(同市山内)に寄進したことが記されている。

修復前の写真パネルも展示しており、仕上がりと比較ができる。同館の相良悦子副館長は「文化財修復の必要性和技術力の高さを感じてほしい」と話している。日曜休館。同館0909-9000000。(坂口理子)

行橋市議会 廃棄物業者の計画発端

行橋市議会は10月4日、定例会最終本会議で、市が提案した「市道宇路の安全確保」に関する条例案と議案案の「市安全安心のまちづくり条例」改正案をいずれも賛成多数で決した。

折尾署は、学校から約千メートルの範囲内で工事を行うときは、安全な通学確保を講じ、学校や市教委に通知するよう求めるなどの内容。だが議員には「本当に必要な条例なのか」など

市は「重く受け止める」として9月議会で条例案を提出していた。条例案は、学校から約千メートルの範囲内で工事を行うときは、安全な通学確保を講じ、学校や市教委に通知するよう求めるなどの内容。だが議員には「本当に必要な条例なのか」など

京築産スギ使い マンション改装

西工大と行橋農林事務所

西日本工業大学(本部・行橋)と行橋農林事務所は、京築産スギ材の活用促進を目的に、市内のマンション改装事業を始めた。同地区にあるワンルームマンション1棟で、内装の仕上りに地元産木材の活用促進を目的に、市内のマンション改装事業を始めた。同地区にあるワンルームマンション1棟で、内装の仕上りに地元産木材の活用促進を目的に、市内のマンション改装事業を始めた。

ワンルームマンションの一室を改装する西日本工業大学の学生

「地元産スギ材を使う(木質化)を進めている。同者は2015年から産学官が連携する「京築のヒノキと暮らすプロジェクト(略称・ちくらす)」に取り組む。家具などの商品開発や建物のリフォームを手掛けてきた。同事務所によると、今後は使う木材の多量化を図る考えで、今回は地元産スギ材の活用促進を目的に、市内のマンション改装事業を始めた。

秋の交通安全県民運動

折尾署は23日、八幡西区大浦3丁目のサンリア折尾店で、交通安全教室や反射材の配布などを行った。写真。

交通安全動画の第2弾配信開始

小倉北署員手作りの交通安全動画の第2弾が配信開始された。動画は、小倉北署員が手作りした廃棄物業者の計画発端



「安全を促す、動画制作中」